

イベント名	第24回交流会ヒューマンライブラリー「私を感じたマジョリティ性・マイノリティ性」		
実施委員会	交流委員会	開催場所	オンライン zoom
開催日時	2023年1月21日(土) 13:00-15:50	参加人数	27名
参加資格	会員・非会員	参加費	無料

イベント概要（案内文など）

【案内文】ヒューマンライブラリーとはその名のとおり「人の図書館」です。人が「本」になり、その人の生き方や人生を語ります。「読者」は「本」を30分間借りることができ、「本」の語りを聴きます。第24回交流会では、「私を感じたマジョリティ性・マイノリティ性」というテーマのもと、7人の本の方々が各々感じるマジョリティ性とマイノリティ性について、考えていきたいと思ひます。

活動報告

第24回交流会は、人が「本」になり、その人の生き方や人生を語り、聴き手である「読者」と対話をする「ヒューマンライブラリー」として開催しました。新型コロナウイルス感染拡大防止のためオンラインで開催し、「本」、「読者」、スタッフ合わせて27人の参加となりました。

今回のテーマは「私を感じたマジョリティ性・マイノリティ性」としました。誰もがマジョリティ、マイノリティという側面を持っていると思ひます。インクルーシブな社会を実現するためには、あるコミュニティ、ある場面でマジョリティになったとき、何らかの配慮が必要となることはいふまでもありません。しかし、どのような配慮が必要なのか、そもそもマジョリティであることに自分自身が気づいているのかも不確かです。そこで今回は、「本」が自分のマジョリティ性・マイノリティ性に気づいたエピソードを語り、「本」も「読者」も「スタッフ」も、インクルーシブな社会づくりに向けて何らかのアクションを起こすことにつながることを期待して開催しました。

具体的には、7名の「本」役を招き、1枠30分のトークセッションを14枠つくり、1枠あたりの「読者」は2～5名としました。「本」役は、日本語教師、コーダ、登録要約筆記者、大学生、会社経営者、就労支援・就労移行支援事業所施設用など多様な人たちに務めていただきました。

セッション終了後には「ふりかえり」を開き、感想を言い合いました。「本」からは「本役になって改めてマジョリティ性マイノリティ性について考えた」、「本役になって初めて客観的に自分を見て知ることができた」、「本役になることで自分の経験を肯定できた」、「読者から吸収することがあった」等、前向きな感想が聞かれました。総じて、「本」による語りは、「本」自身にも新たな気づきを促していたことがわかりました。また、「読者」による事後アンケートには、読後の様々な気づきや感想、本役に対する感謝や温かいことば、そして、他の人との「読み」に効果があったことも書かれていました。概ね肯定的な意見であった一方で、時間が足りなかったという意見もありました。イベント後のスタッフの振り返りでは、本役が回を重ねるごとに変容を見せていた、読者が協力的で深い議論に進んだ、読者の数が少なくても議論が深まる等前向きな意見が出された一方で、読者の属性に偏りが出たために議論に入れなかった読者が生まれてしまったという意見もありました。交流委員会では、課題を明確にして次のヒューマンライブラリー開催に向けて尽力していきます。